

！今月の NEWS トピックス！ やけどは素早い対処が大事！

寒い季節は暖を取るために暖房器具が手放せないかと思います。より安全に配慮されたものが増えてきていますが、それでもふだんの生活の中で気を付ける必要があります。

《もしやけどをしてしまったら…？》

1. 範囲が狭く皮膚が赤くなっている状態の場合は、冷たい流水で痛みが取れるまで冷やす
2. 水ぶくれができているときは、つぶさないように清潔な布などで覆いその上から冷やし病院を受診
3. やけどの部位が衣類で覆われている場合は、無理に脱がさずそのままの状態でも冷やす
4. やけどの範囲が大きい場合、冷やし続けていると体温がひどく下がる危険性があるので、10分以上広範囲を冷やすことは避けて手当をする。



参考：日本赤十字社「やけどは素早い対処が大事」 <https://www.chiba.jrc.or.jp/lecture/column/backnumber/2022January.html>

皮膚トラブルに気を付けましょう！

1月に入り、寒さがいっそう厳しくなったように感じます。
このような寒い時期はしもやけや手足がカサカサしたりなど皮膚トラブルになりやすくなります。特に乾燥は大敵です！よく保湿して対策しましょう！

気を付けたいポイント^①は4つ

① 熱いお湯や長風呂は×

寒いと温かいお風呂に長く入っていきたくて熱いお湯に長時間浸かってしまうと皮脂が失われてしまいます。お風呂の温度はぬるめで長湯は避けましょう。

② エアコンの設定温度は低めに

室温と湿度は適正にしましょう。室温は20℃～22℃前後、湿度は40%～60%に保つのが良いとされています。

③ 湯たんぽの使い方に気を付けよう

タオルやカバーをしていても、長時間触れていると低温やけどの危険があります。寝床を温めたら就寝時には取り出しましょう。

④ 皮膚の潤いを保とう

皮膚が乾燥するとバリア機能が低下し、かゆみが生じたり他の皮膚の病気が起こりやすくなります。保湿剤をこまめに使用して皮膚の乾燥を防ぎましょう。

保健室からのお知らせ

2024年度 定期健康診断について

学生の皆さんは年1回の定期健康診断を受けることが法律で義務づけられています。病気の早期発見や、健康保持増進のために必ず受けましょう。

なお、就職、進学、実習、留学・語学研修等を希望する学生は必ず受けてください。

※健康診断を受けていないと健康診断証明書は発行できません。

健康診断についての詳しい日程はホームページやポータル、保健室前掲示板をご覧ください。
質問等がありましたら、保健室までお問い合わせください。(時間 平日 9:00~17:00)

Canteen から今月の献立

1月 今月のテーマ：ねぎ

明けましておめでとうございます。

皆さん、お正月はゆっくり休めたでしょうか？

新しい1年のはじまり、「バランスの良い食事」「適度な運動」「十分な睡眠」の3本の柱を意識して良いスタートを切りましょう！

今月おすすめする食材はねぎです。ねぎ独特の成分として有名なのが、香り成分のアリシン。糖質の代謝を助けるビタミンB1の吸収を高め、その効果の持続が期待できます。

切ったものはラップで包んで冷凍保存が可能なので、ちょっとしたトッピングにもってこいですよ！

～ねぎのお餅ピザ～



栄養価(1人前)	
エネルギー	268kcal
タンパク質	6.2g
脂質	9.2g
炭水化物	34.1g
食塩相当量	1.0g

材料(1人分)

切りもち	2個(70g)
サラダ油	小さじ1/2杯(2g)
マヨネーズ	大さじ1/2杯(6g)
ねりわさび	チューブ2cm 1g
しょうゆ	小さじ1/2(3g)
砂糖	小さじ1/2(1.5g)
しらす干し	7.5g
ピザ用チーズ	10g
根深ねぎ	15g
黒こしょう	適量

作り方

- ①ネギを3mm程度の斜め切りにする。わさび、しょうゆ、マヨネーズを混ぜる
- ②切り餅をサッと水に通し、600Wの電子レンジで1分30秒加熱する。
- ③フライパンにサラダ油を引き、もちを入れて手で1枚にまとめながら好みの大きさに伸ばす。
弱めの中火にかけ、裏面に焼き色がついて膨らんできたら裏返し、焼き色がついた面を表にして、一度火を止める。
- ④1のソースを塗り、1のねぎ、しらす干し、チーズをのせてフタをして弱中火にかけ、チーズがとけるまで2~3分焼く。
- ⑤粗びき黒こしょうをかけたら完成。



記事作成：管理栄養学科3年 田中 瑠姫 さん